

平成23年度に新規採択された研究代表者及び研究課題

基盤研究(A)			
奥直人	薬学部	教授	創造的インテリジェントDDSによる脳虚血再灌流障害の診断と治療の新展開

基盤研究(B)			
合田敏尚	食品栄養科学部	教授	消化管を標的とした代謝制御による生活習慣病リスク低減に関する研究
吉村紀子	国際関係学部	教授	文法モジュールとインターフェイス論に基づく外国語習得研究の新展開と学習法への示唆
小林裕和	生活健康科学研究科	教授	葉緑体遺伝子の選択的発現制御システムの解明とその活用
菅敏幸	薬学部	教授	汎用性の高いウギ反応の開発を基盤とする生理活性化合物の合成研究
今井康之	薬学部	教授	TRPチャネルを経由した化学物質による接触感作促進(アジュバント)機構の解明

基盤研究(C)			
池田哲夫	経営情報学部	教授	メトリック空間オブジェクトの縮小埋め込みによる類似検索の高速化
大久保誠也	経営情報学部	助教	階層付きモチーフ・パターン分析によるネットワークの類型化
横越英彦	食品栄養科学部	教授	脳発育期及び加齢時の脳機能に及ぼすシアル酸の神経科学的解析
増田修一	食品栄養科学部	准教授	トランス脂肪酸及びグリシドール脂肪酸エステル網羅的リスク評価法の確立
岩村武	環境科学研究所	助教	ケミカルリサイクル性を有する架橋性高分子の開発
浅井章良	薬学研究科(研究院)	教授	DNAアルキル化剤の新規作用機序に関する研究
松森奈津子	国際関係学部	講師	16世紀スペインにおける恩寵と自由意志―「もう一つの社会契約説」の展開
佐藤真千子	国際関係学部	助教	アメリカの道義的外交を取り巻く国内的抗争―ベトナム戦争肯定派の挑戦
澤田敬人	国際関係学部	准教授	外国人青少年の学び直しの場におけるeラーニングシステムの構築による教育方法の研究
熊澤茂則	食品栄養科学部	教授	プロボリスの機能性解明を目指した化学生物学的研究
板井茂	薬学部	教授	噴霧凝固造粒法による新規機能性剤形の製剤設計
根本清光	薬学部	准教授	化学物質の肝毒性発現におけるNMDA型グルタミン酸受容体の役割に関する研究
石川智久	薬学部	教授	末梢体内時計と隣β細胞NO-cGMP系とのクロストークの糖尿病発症における役割
五十里彰	薬学部	准教授	腎尿細管における細胞間タイト結合の新たな制御機構の解明
大橋典男	食品栄養科学部	教授	新興感染症起因細菌の感染宿主細胞内環境維持に関与する分子機構の解明
高橋忠伸	薬学部	助教	機能グライコミクスを利用したマイナーシアル酸のインフルエンザウイルス受容体評価
山田浩	薬学部	教授	高校生における緑茶うがいによるインフルエンザ予防効果の検証
岩崎邦彦	経営情報学部	教授	我が国のインバウンド戦略における「おもてなし」に対する評価の多面性に関する研究
海野けい子	薬学部	准教授	脳において抗老化および抗ストレス作用を示す食品由来成分の探索および機能解明
熊谷裕通	食品栄養科学部	教授	慢性腎臓病における栄養障害としての骨格筋萎縮機序の解明と治療戦略
高畑幸	国際関係学部	准教授	地方都市・過疎地域における外国人介護者定着促進のための学際的研究
佐々木隆志	短期大学部	教授	介護老人福祉施設における終末ケア全国実態調査研究
松尾ひとみ	短期大学部	教授	心臓外科手術をうけるこどもとのコラボレーションによる飲水ケアの開発
松平 千佳	短期大学部	准教授	子どもにやさしい医療を創造するためのホスピタル・プレイに関する研究

挑戦の萌芽研究			
三好規之	食品栄養科学部	助教	腸管内炎症マーカー探索
谷 晃	環境科学研究所	准教授	ベンゼン、トルエンに対して高い吸収能力を持つ植物の探索と大気浄化への利用
今井康之	薬学部	教授	植物工場での抗体医薬生産に適したレタスによる分泌型IgA植物抗体の発現
山田静雄	薬学部	教授	緑茶による薬食相互作用の萌芽的トランスレーショナル研究
古川文子	看護学部	教授	複合型循環機能障害に対する休息・睡眠用多目的対応型マットレスパッドの開発と評価

研究成果公開促進費(学術図書)			
奈倉京子	国際関係学部	講師	帰国華僑

新学術領域(研究提案)(継続)			
鮎信学	食品栄養科学部	准教授	未利用遺伝子資源の発掘研究と合成生物学的手法による次世代微生物触媒の開発

若手研究(A)			
榊原啓之	環境科学研究所	助教	食品成分の生体内有効性を制御する概日リズム因子のデータベース構築とその応用

若手研究(B)			
戸敷浩介	環境科学研究所	助教	廃プラスチックの広域化処理における政策決定モデルの構築に関する研究
伊藤一頼	国際関係学部	講師	国際経済法における立憲化概念の研究―規律の統合性と分権性に関する分析視角として―
伊藤圭祐	食品栄養科学部	助教	う蝕リスク低減化食品素材探索へのグルカンスクラーゼ分子基盤
小西英之	薬学部	助教	共有結合を介する基質認識型新規触媒の創製
井川貴詞	薬学部	助教	ヘテロアラインの酸化還元変換による反応位置制御法の開発
井上和幸	薬学部	講師	精神疾患の薬物治療を手助けする遺伝的マーカーの探索と臨床応用
勝又里織	看護学部	講師	人工妊娠中絶術を受ける女性と看護者のやりとりの場面に焦点を当てた看護に関する研究
垣口 由香	短期大学部	講師	ベケット文学における「歓待」

研究活動スタート支援			
鰐淵 清史	薬学部	助教	病原性微生物が生産する天然物の化学構造決定および生合成機構の解明に関する研究
中沢 威人	薬学部	助教	分野横断型アプローチによる非モデル糸状菌からの新規二次代謝産物の獲得
平川 城太郎	薬学部	助教	新規抗体作製法を用いた抗血小板活性化因子受容体抗体の樹立

#### 継続課題の研究代表者

基盤研究(A)	野口博司(薬学部)、六鹿茂夫(国際関係学研究所 教授)
基盤研究(B)	鈴木直義(経営情報学部 教授)、大島寛史(食品栄養科学部 教授)、谷晃(環境科学研究所 准教授)、森山優(国際関係学部 准教授)、津富宏(国際関係学部 准教授)、赤井周司(薬学部 教授)、川島博人(薬学部 准教授)、奥村昭博(経営情報学部 教授)、中山慶子(国際関係学部 教授)、雨谷敏史(環境科学研究所 准教授)、飯田滋(生活健康科学研究科 特任教授)、武田厚司(薬学部 准教授)、太田尚子(看護学部 准教授)、湖中真哉(国際関係学部 准教授)、小針進(国際関係学部 教授)、五島文雄(国際関係学部 教授)
基盤研究(C)	小原一男(薬学部 講師)、太田敏郎(生活健康科学研究科 助教)、坂田昌弘(環境科学研究所 教授)、伊吹裕子(環境科学研究所 准教授)、金川幸司(経営情報学部 教授)、西野勝明(経営情報学部 教授)、鈴木由美子(薬学部 助教)、牧野正和(環境科学研究所 准教授)、小林亨(環境科学研究所 教授)、左一八(薬学部 准教授)、玉野春南(薬学部 研究員)、中山勉(食品栄養科学部 教授)、坂口真人(環境科学研究所 教授)、石川吉伸(薬学部 准教授)、三輪匡男(薬学部 名誉教授)、内田信也(薬学部 講師)、桑原厚和(環境科学研究所 教授)、鈴木裕一(食品栄養科学部 教授)、濱井妙子(看護学部 助教)、森本達也(薬学部 教授)、武藤伸明(経営情報学部 准教授)、松浦博(経営情報学部 教授)、市川陽子(食品栄養科学部 准教授)、守田昭仁(食品栄養科学部 助教)、林久由(食品栄養科学部 助教)、桑野稔子(食品栄養科学部 准教授)、下位香代子(環境科学研究所 教授)、谷幸則(環境科学研究所 准教授)、末松俊明(経営情報学部 准教授)、定塚恵世(久富恵世)(生活健康科学研究科 博士研究員)、濱島義隆(薬学部 准教授)、藤井敏(薬学部 教授)、澤田潤一(薬学研究科 准教授)、菅谷純子(薬学部 教授)、賀川義之(薬学部 教授)、三宅正紀(薬学部 講師)、白尾久美子(看護学部 准教授)、松岡恵(看護学部 教授)、藤巻光浩(国際関係学部 准教授)、増田明美(短期大学部 講師)、三富道子(短期大学部 教授)、立花明彦(短期大学部 准教授)、漁田俊子(短期大学部 教授)、今福恵子(短期大学部 講師)
挑戦的萌芽研究	森山優(国際関係学部 准教授)、藤澤由和(経営情報学部 准教授)、飯田滋(生活健康科学研究科 特任教授)、奥直人(薬学部 教授)、川島博人(薬学部 准教授)
若手研究(A)	三好規之(食品栄養科学部 助教)、鮎信学(食品栄養科学部 准教授)、望月和樹(食品栄養科学部 助教)
若手研究(B)	吉田真樹(国際関係学部 講師)、橋川裕之(国際関係学部 講師)、松森奈津子(国際関係学部 講師)、井上広子(食品栄養科学部 助教)、東野定律(経営情報学部 講師)、岸昭雄(経営情報学部 助教)、河原崎泰昌(食品栄養科学部 准教授)、関俊哲(薬学部 助教)、南彰(薬学部 助教)、金子雪子(薬学部 助教)、河内俊二(看護学部 助教)、渡邊貴之(経営情報学部 准教授)、新井英一(食品栄養科学部 准教授)、佐久間理英(食品栄養科学部 助教)、豊岡達士(環境科学研究所 助教)、坂巻静佳(国際関係学部 講師)、高瑞紅(経営情報学部 講師)、光延聖(環境科学研究所 助教)、寺崎正紀(環境科学研究所 助教)、石井剛志(食品栄養科学部 助教)、江木正浩(薬学部 講師)、尾上誠良(薬学部 准教授)、岩尾康範(薬学部 助教)、浅井知浩(薬学部 講師)、林秀樹(薬学部 講師)、島村裕子(食品栄養科学部 助教)、林恵嗣(短期大学部、講師)
研究活動スタート支援	刀坂泰史(薬学部 助教)、吉川悠子(食品栄養科学部 助教)

※4月1日の転入者を含み、転出者・辞退者は除外してある。研究活動スタート支援は、現在申請中で今年度の新規採択は未定である。